

八幡平市人口ビジョン及び総合戦略検討状況
＜市民意向分析＞

平成27年7月23日

目次

1	市民意向等の整理・分析.....	1
1)	既往市民意識調査結果の概要.....	1
(1)	まちづくりアンケート調査.....	1
(2)	後期総合計画策定にかかる市民意識調査.....	5
(3)	住まいに関する意向調査.....	6
(4)	子育て支援に関するアンケート調査.....	9
(5)	転入者アンケート調査.....	10
(6)	転出者アンケート調査.....	12
(7)	定住促進のための雇用に関するアンケート調査.....	14

1 市民意向等の整理・分析

1) 既往市民意識調査結果の概要

(1) まちづくりアンケート調査

(実施年；平成 27 年 3 月、回収数；1,990 人（回収率 66%）)

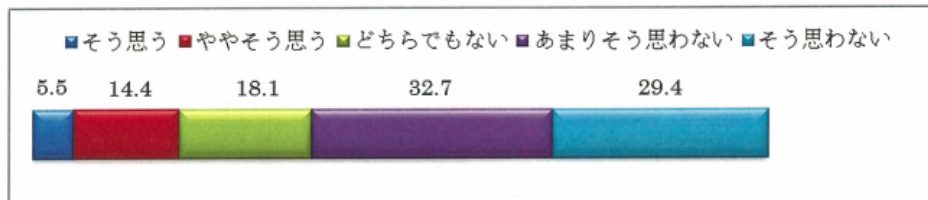
- ① 安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会に対する国の達成状況
 - 「(あまり) そう思わない」が 62%と、「(やや) そう思う」の 20%を大きく上回る。
- ② 現在のまちの状況への感想
 - マイナス評価が高かったのは、「ここ 1 年での犯罪や身の回りの危険性」96%、「ここ 1 年での夜間の一人歩き、市内の通行への不安」79%が突出している。
 - 次いで、「市内の地域医療への安心感」「地域の道路の歩行者への安全性」「バスや電車などの公共交通機関の利用のしやすさ」66~67%、「地域の道路整備の進展」57%、「子育てしやすいまち」54%となっている。
- ③ これからの八幡平市に重要な産業（雇用）
 - 「農業」「福祉サービス業」「医療に関わる事業」が 51~54%と突出している。
 - 次いで、「観光サービス業」45%、「商業（飲食、商店、理容など）」33%が続く。
 - 「農業」は回答者の属性（60 代以上が 47%、農林水産業 17%、無職 32%）の影響も想定される。
- ④ 日ごろの日常用品（食料、生活雑貨）の買い物の主な場所
 - 「市内の大型（チェーン）店」が 86%と突出している。
 - 次いで、「市内の個人商店」30%、「盛岡市郊外の大型店」24%が続く。
 - 「盛岡市郊外の大型店」「盛岡市街地」「滝沢市」全体で 42%となる。
- ⑤ 市外で購入する主なもの
 - 「電化製品」62%、「衣類」50%、「普段着」「靴」46%、「書籍・音楽 CD・DVD」38%の順に高い。
- ⑥ 高齢になって市内で暮らすことへの不安（現在、将来）
 - 「収入（生活費）」75%が突出している。
 - 次いで、「介護施設等に入居できるか」50%、「雪かき・草取り等が大変」49%、「車の運転」「介護などをしてくれる人がいるか」「買い物等が自由にできるか」42~43%の順に高い。
- ⑦ 現在のまちの状況への評価
 - マイナス評価（「(あまり) そう思わない」の比率が「(やや) そう思う」に対して）が高かったのは、「市内の雇用、働き先の充実」73%、「就業支援に関わる市の政策」49%、「みんなの支え合いによる地域の課題解決」「医療・福祉に関わる市の政策」45~46%、「産業振興に関わる市の政策」40%、「行政サービス全般の満足度」36%、「子育てに関わる市の政策」30%となっている。
 - 逆に、プラス評価が高かったのは、「住みやすいまち」44%、となっている。
 - 「他の地域にない良さをもったまち」については、プラス評価 34%がマイナス評価 28%をわずかに上回る結果であった。
- ⑧ 現在の仕事や収入への評価
 - 「現在の仕事への満足度」は満足度が若干上回った（満足 41%、不満 31%）が、「現在の収入への満足度」は 59%が不満（満足は 20%）と高かった。

【参考】まちづくりアンケート調査

2 続いて、国が調査をしている次の質問に、あてはまる番号に○をしてご回答ください。
 (国が行っている調査結果と比較するため回答をお願いしています。)

あなたは、国が、安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を達成していると考えていますか

1. そう思う	5.5%	2. ややそう思う	14.4%
3. どちらでもない	18.1%		
4. あまりそう思わない	32.7%	5. そう思わない	29.4%



3 次に、以下の質問に「はい」又は「いいえ」に○をしてお答えください。

「 ■ はい ■ いいえ 」(グラフの単位：%)

2 あなたは、お住まいの地域の道路は歩行者に安全であると思いますか



3 あなたは、お住まいの地域の道路整備が進んでいると思いますか



4 あなたは、お住まいの地域の除雪は、きちんと行われていると思いますか



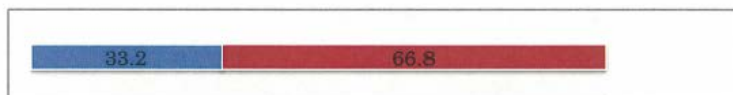
5 あなたは、バスや電車などの公共交通機関が利用しやすいと思いますか



6 あなたは、ここ1年で犯罪にまき込まれたり、身の危険を感じたりしたことはありますか



11 あなたは、八幡平市内の地域医療に安心感を持っていますか



13 あなたは、八幡平市は子育てがしやすい市だと思いますか

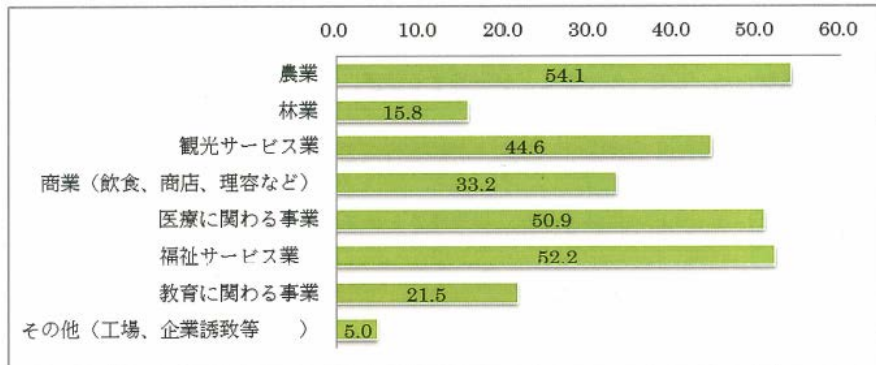


31 あなたは、ここ1年で夜間の一人歩き、市内の通行に不安を感じたことはありますか



4 ここからの質問は、あてはまる番号すべてに（該当するものにいくつでも）○をしてください。

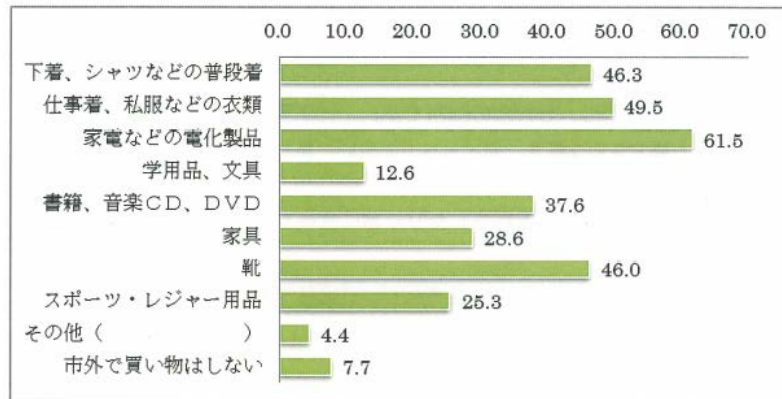
問 33 あなたが、これからの八幡平市に重要と思う産業（雇用）は何ですか



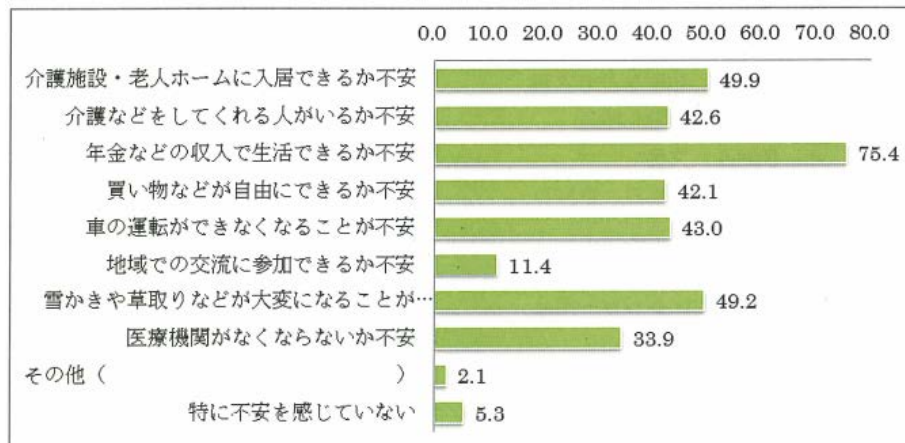
問 36 あなたは、日ごろ、主にどこで日用品（食料、生活雑貨）の買い物をしていますか



問 37 あなたは、市外で主にどのようなものを購入していますか



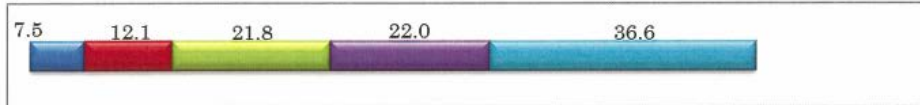
問 38 あなたは、将来（または現在）、高齢になって市内で暮らすことに次のような不安を感じていますか



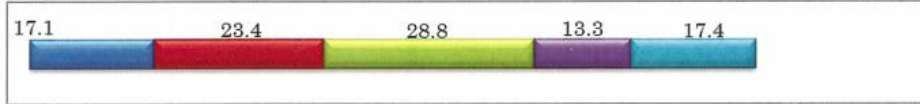
5 ここからの質問は、5段階の回答です。（グラフの単位：％）

■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらでもない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

40 あなたは、現在の収入に満足していますか



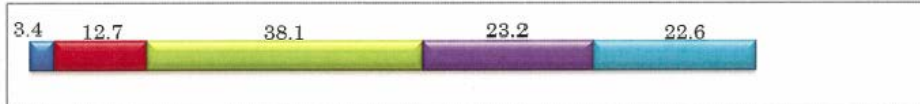
41 あなたは、現在の仕事に満足していますか



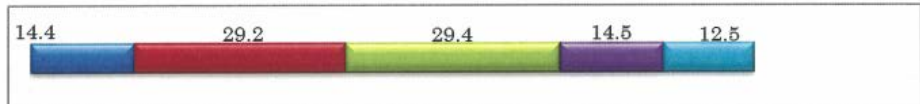
42 あなたは、八幡平市内の雇用、働き先は充実していると感じていますか



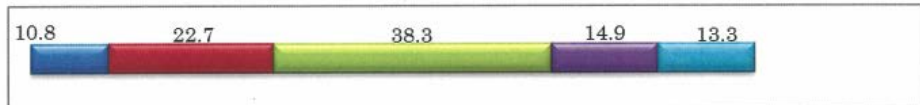
43 あなたは、八幡平市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決している市だと思いますか



44 あなたは、八幡平市は住みやすい市だと思いますか



45 あなたは、八幡平市は他の地域にない良さをもった市だと思いますか



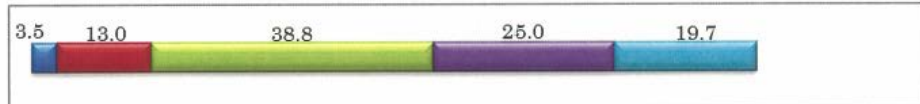
46 あなたは、八幡平市の子育てに関わる政策に満足していますか



47 あなたは、八幡平市の産業振興に関わる政策に満足していますか



48 あなたは、八幡平市の医療・福祉に関わる政策に満足していますか



49 あなたは、八幡平市の就業支援に関わる政策に満足していますか



50 あなたは、八幡平市の行政サービス全般について満足していますか



(2) 後期総合計画策定にかかる市民意識調査

(実施年；平成 22 年 6 月、回収数；6,965 人（回収率 72%）)

① 今後重点的に取り組む施策

- 「医療」が 11%と突出。
- 次いで、「高齢者福祉」「行政組織」「農業」が 6～7%と続く。
- さらに、「商業」「工業」「道路」「財政」「観光」「公共交通」が 4～5%と続く。
- 全体として、「高齢化対策」「産業振興」とそれらに関連する「交通環境」、さらには「行財政効率化」に係る項目への要望が高くなっている。

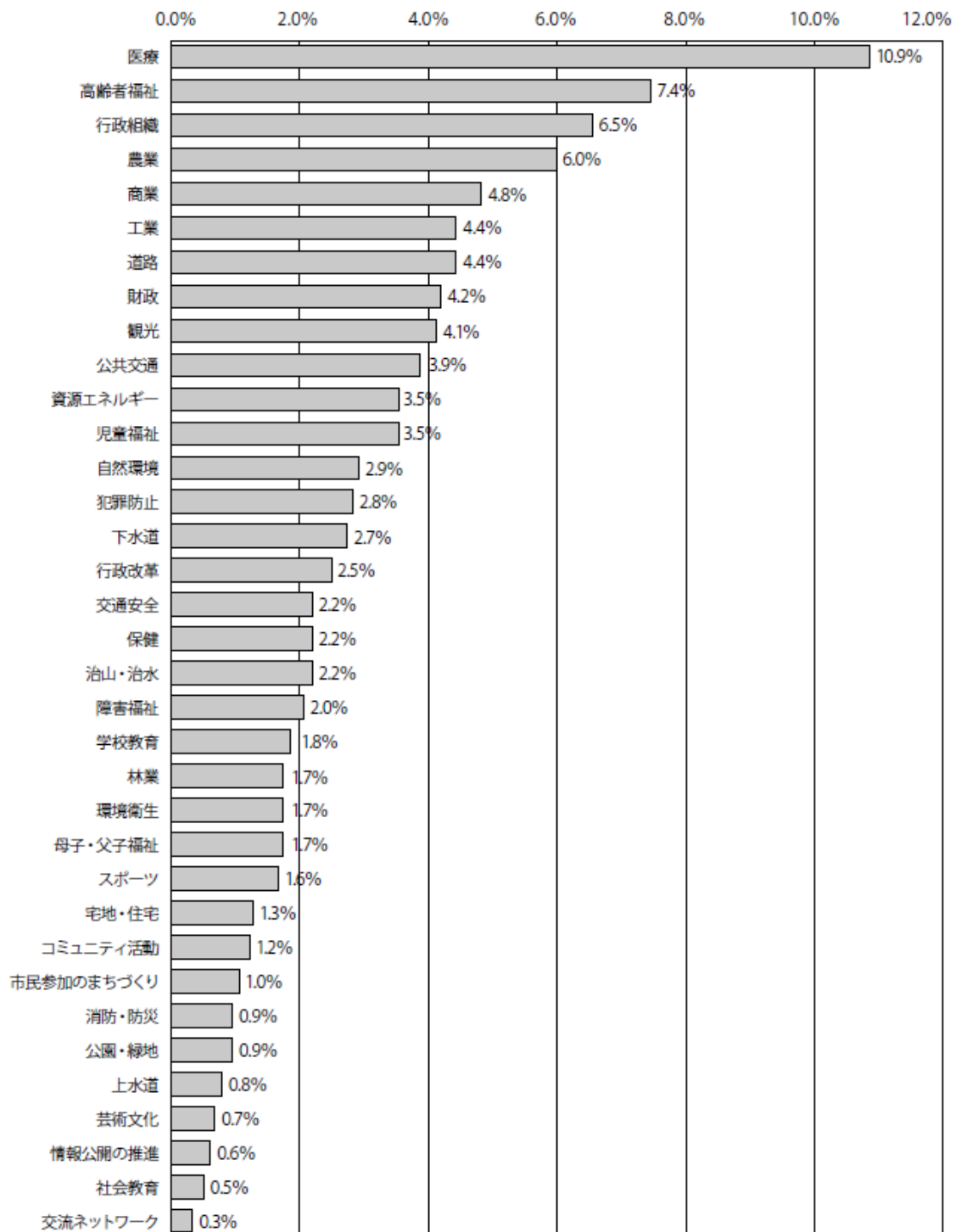


図10 今後重点的に取り組む施策

(3) 住まいに関する意向調査

(実施年；平成 21 年 12 月、回収数；414 人（回収率 41%）)

- ① 定住意向
 - 「今後も住みたい」が 62%と突出。
 - 「転居する予定がある」と「移れないが住みたい」で 16%、
 - 「どちらでもない・わからない」は 10%。
- ② 住みたい理由
 - 「今の住宅性能に満足で愛着があるから」が 22%と突出。
 - 地域特性に係る「通勤・通学に便利」「住居費負担が低い」「買い物などが便利」「子供の教育環境がいい」は各 11%以下と低位にとどまっている。
- ③ 住みたない理由
 - 「今の住宅性能に不満で愛着を感じないから」が 56%と突出。
 - 地域特性に係る「買い物などの利便性が悪い」「周辺環境に不満がある」「住居費負担が大きい」「通勤・通学に不便」が 10～16%と続く。
- ④ 重点的に行うべき住宅施策
 - 「リフォームや増改築に対する支援（バリアフリー化など）」が 18%と突出。
 - 次いで、「環境負荷を軽減する住宅の建設支援（太陽光エネルギー設置補助など）」「高齢者・障がい者世帯のニーズに対応した住宅建設支援」「住宅の耐震診断・耐震改修の支援」が 10～14%と続く。
- ⑤ 重点的に行うべき住環境に関する施策
 - 「高齢者・障がい者等が安心して暮らせる住環境づくり」が 25%と突出。
 - 「バスなどの公共交通機関の充実」「夫婦が共に働きながら安心して暮らせる住環境づくり」が 12～13%と続く。
- ⑥ 現在の住まいの不安箇所
 - 「病院や福祉施設が遠い」「買い物が不便」が 21～23%と突出。

図 1-30 永住意向

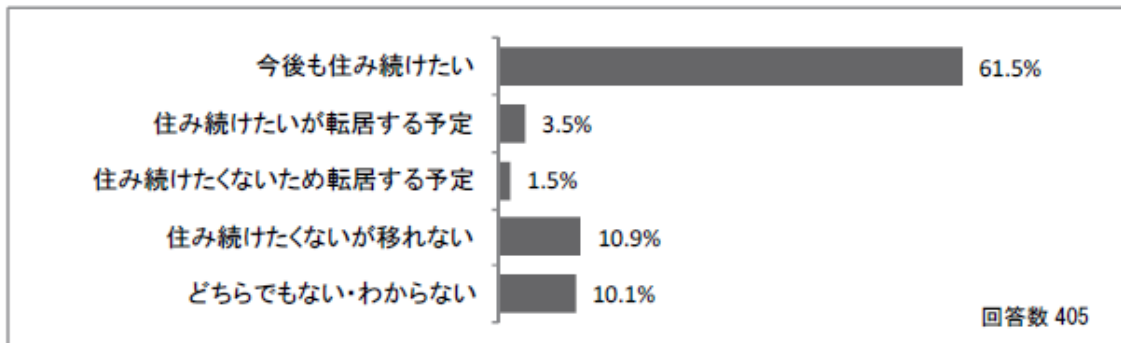


図 1-31 住み続けたい理由

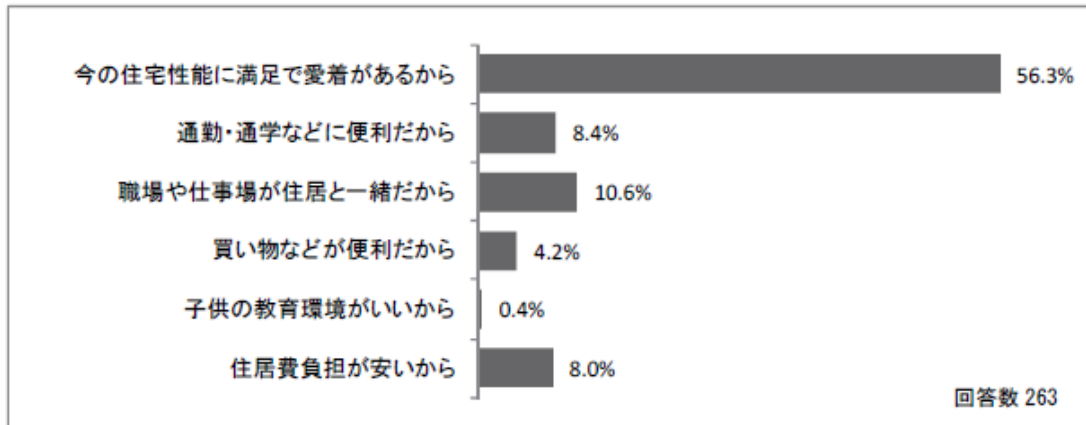


図 1-32 住み続けたくない理由

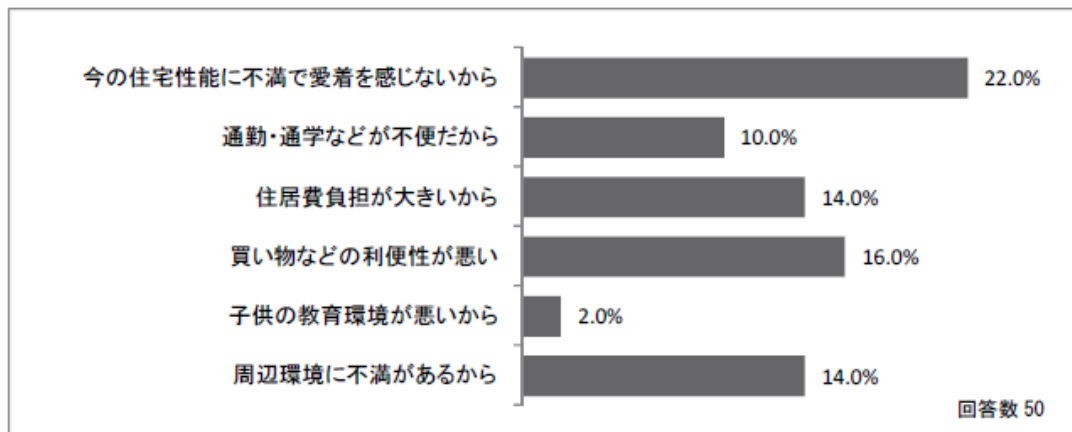


図 1-34 重点的に行うべき住宅施策

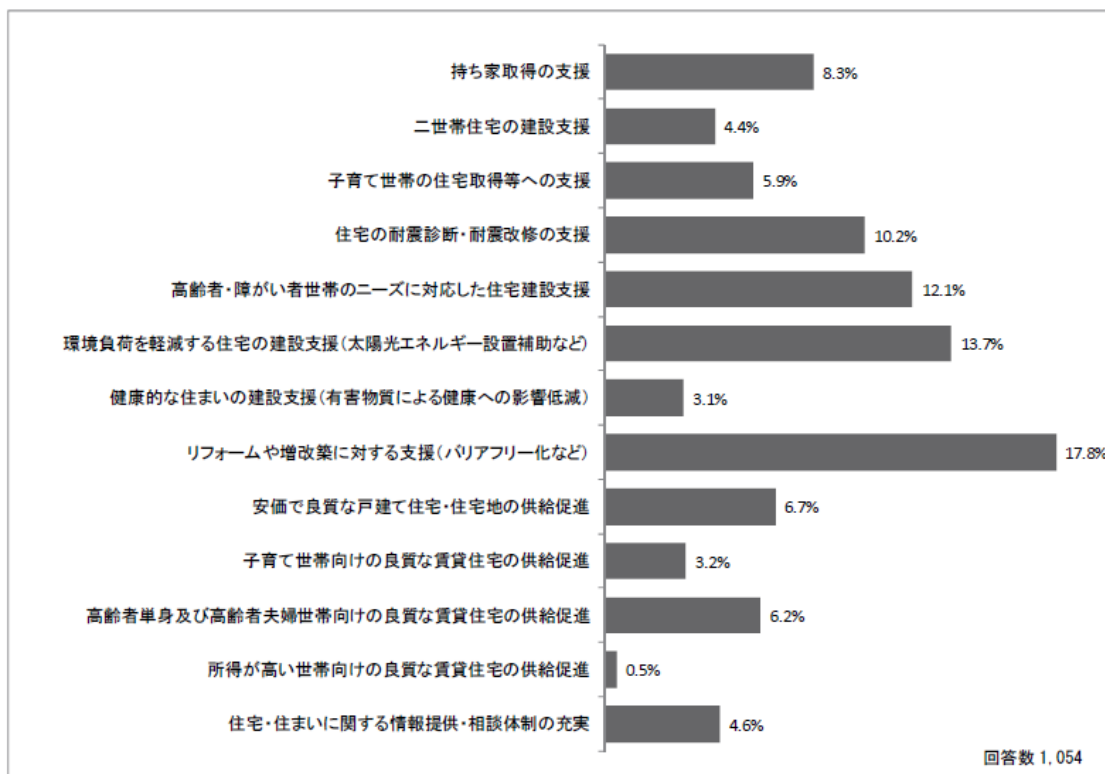


図 1-35 市が取り組むべき住環境施策

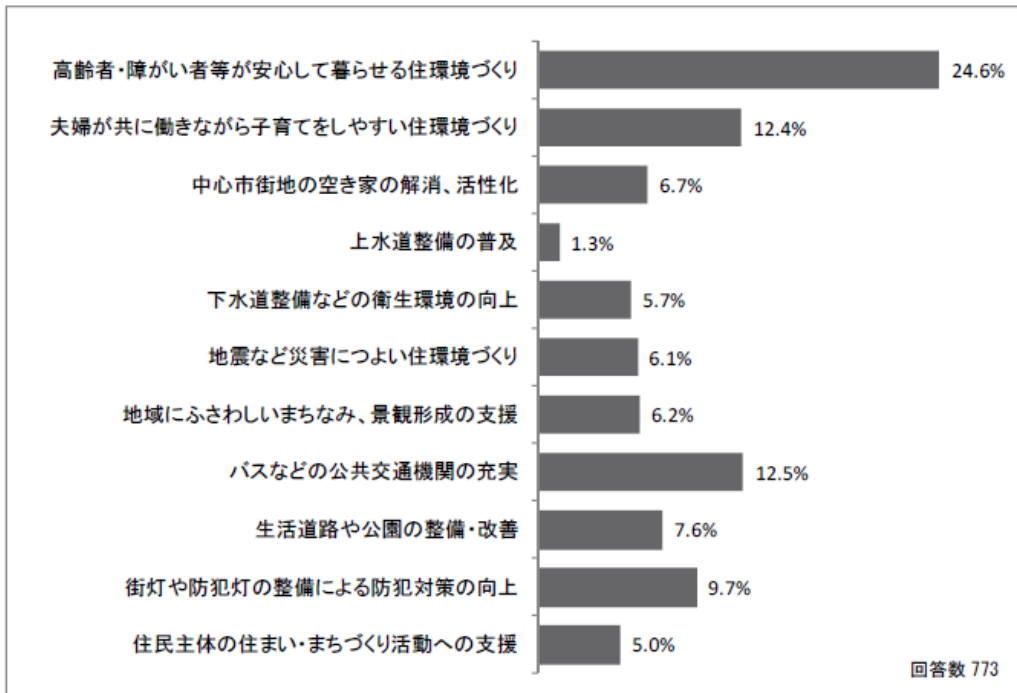
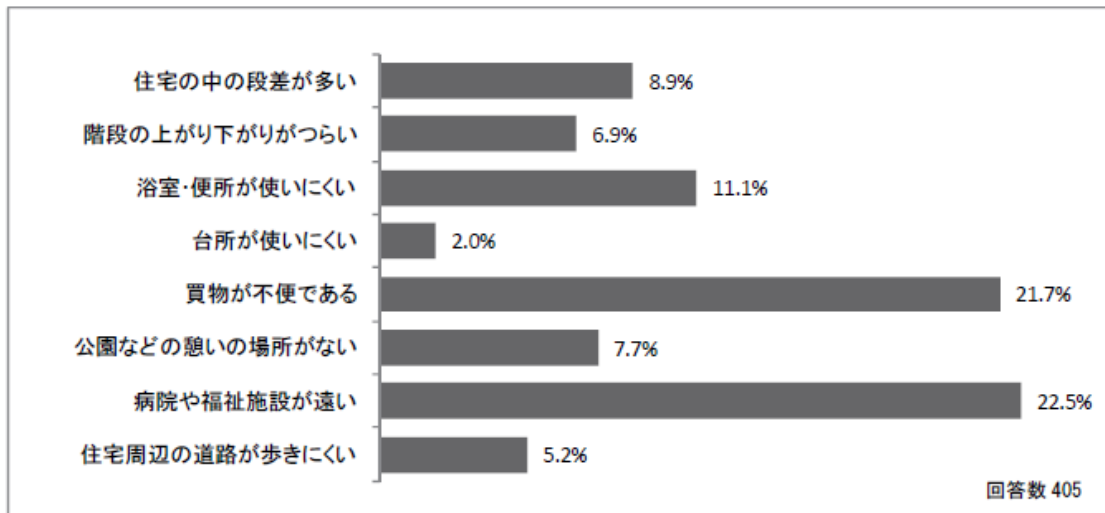


図 1-38 現在の住まいの不安箇所



(4) 子育て支援に関するアンケート調査

(実施年；平成 25 年 12 月、回収数；1,171 人（回収率 87%）、小学生以下の子供がいる全世帯対象）

① 仕事への意向

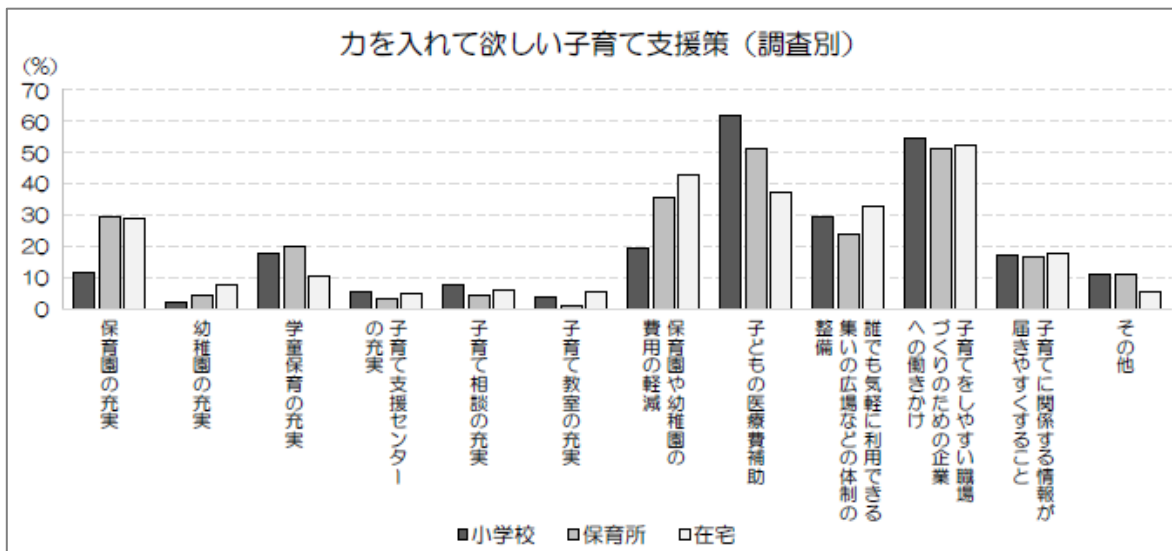
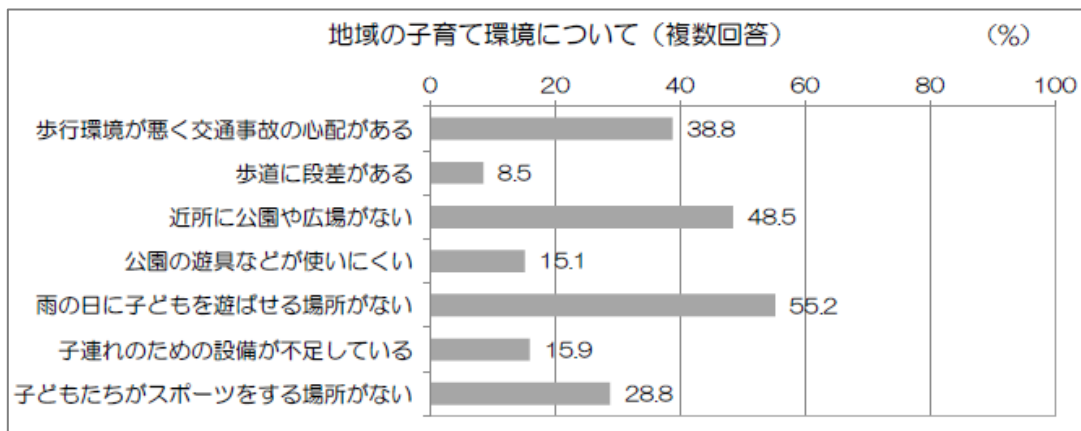
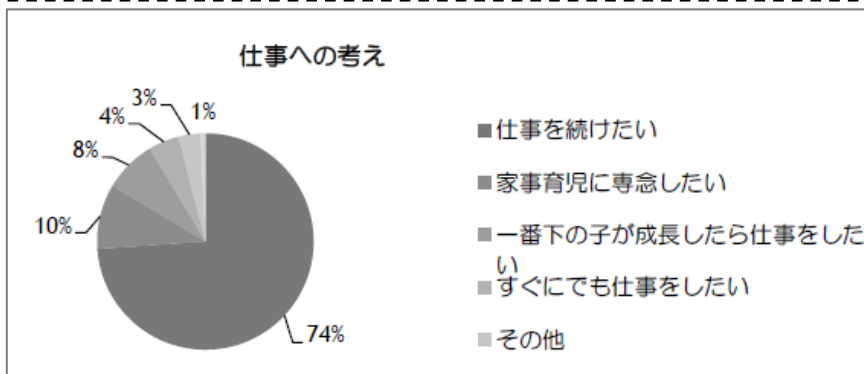
- 「仕事を続けたい」が全体で 86%と仕事への意向が高い。

② 地域の子育て環境への悩み

- 「雨の日に子どもを遊ばせる場所がない」55%、「近所に公園や広場がない」49%が高い。
- 次いで、「歩行環境が悪く交通事故の心配がある」39%、「子どもたちがスポーツする場所がない」29%が続く。

③ 力を入れて欲しい子育て支援策

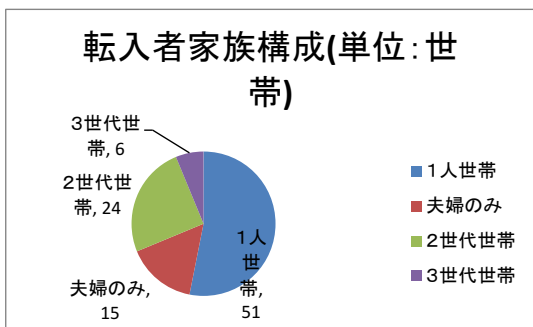
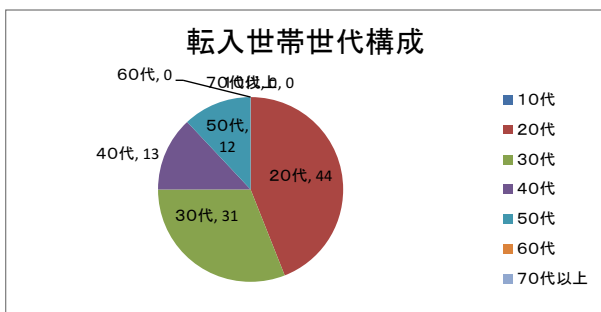
- 「子どもの医療費補助」「子育てをしやすい職場環境づくり」が高い。
- 「保育園・幼稚園の費用軽減」「集いの広場等の体制の整備」「保育園の充実」6が続く。



(5) 転入者アンケート調査

(実施年；平成26年3~4月、回収数；転入100世帯)

- ① 転入者の構成
 - 「20~30代」75件、「1人世帯」51件、「県内から」54件が多い。
- ② 転入の理由
 - 「就職・転職・転勤」が57件と多く、「結婚」の11件と続く。
- ③ 八幡平市を選んだ理由
 - 「自然環境が良い」と「通勤・通学がしやすい」が各16件と多い。
- ④ 八幡平市で暮らすに当たり望まれること
 - 「医療環境」「買い物環境」「子育て環境」「交通機関や道路の利便性」の充実が多い。



問5: 八幡平市以外にも市区町村を検討していたか

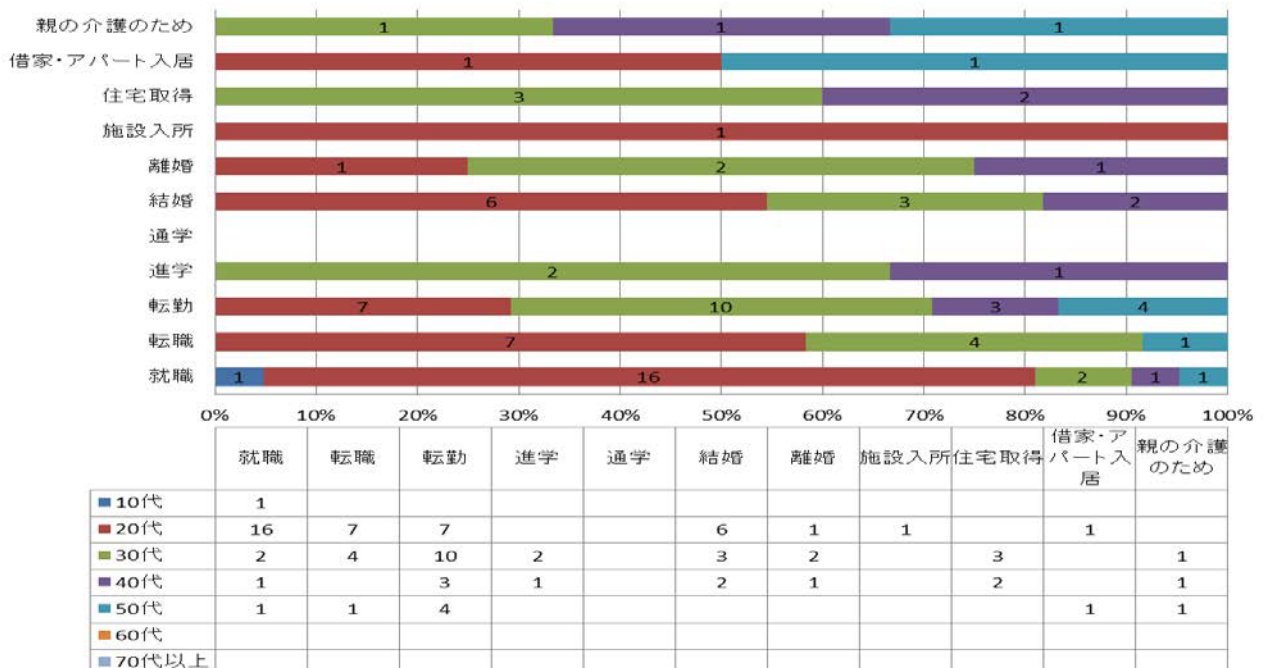
選択し	回答
1. 他市町村も検討、八幡平市へ	12
2. 八幡平市に決めていた	33
3. 八幡平市にしか住めなかった	38

(単位:世帯)

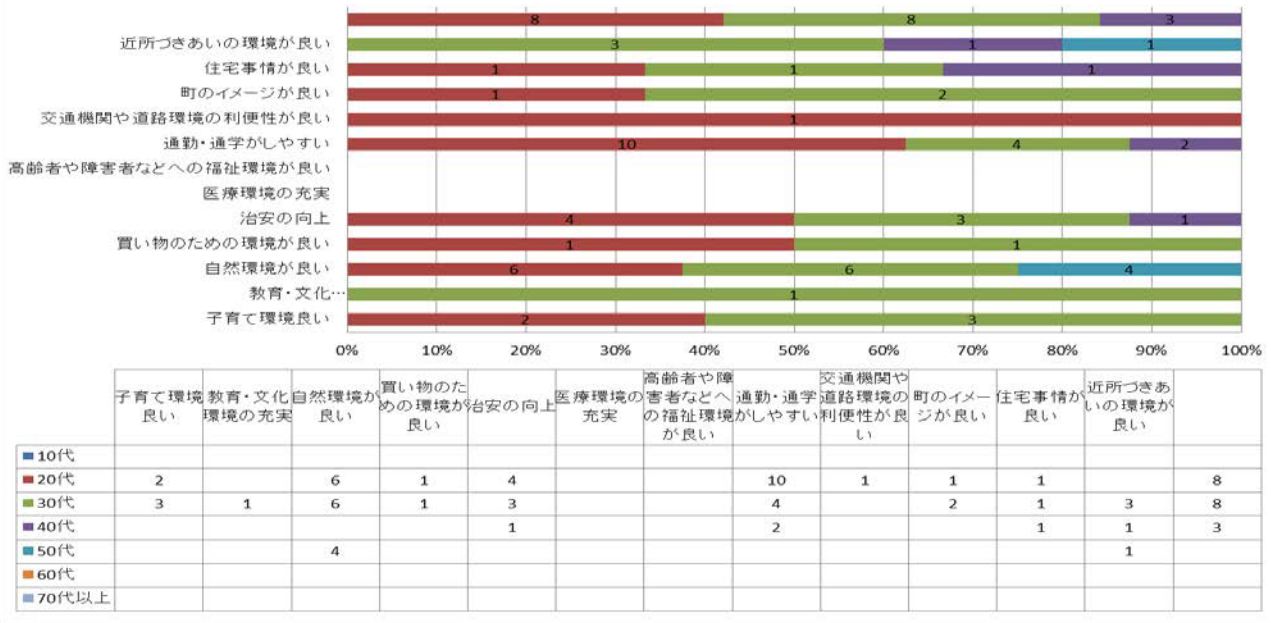
問3: 転入前の住まい

都道府県	世帯数
1 国外(国名)	
2 国内	
青森県	5
秋田県	9
岩手県	54
愛媛県	1
大阪府	1
神奈川県	1
京都府	1
群馬県	2
静岡県	1
東京都	9
栃木県	3
福岡県	1
福島県	1
北海道	4
宮城県	4
山形県	2
計	99

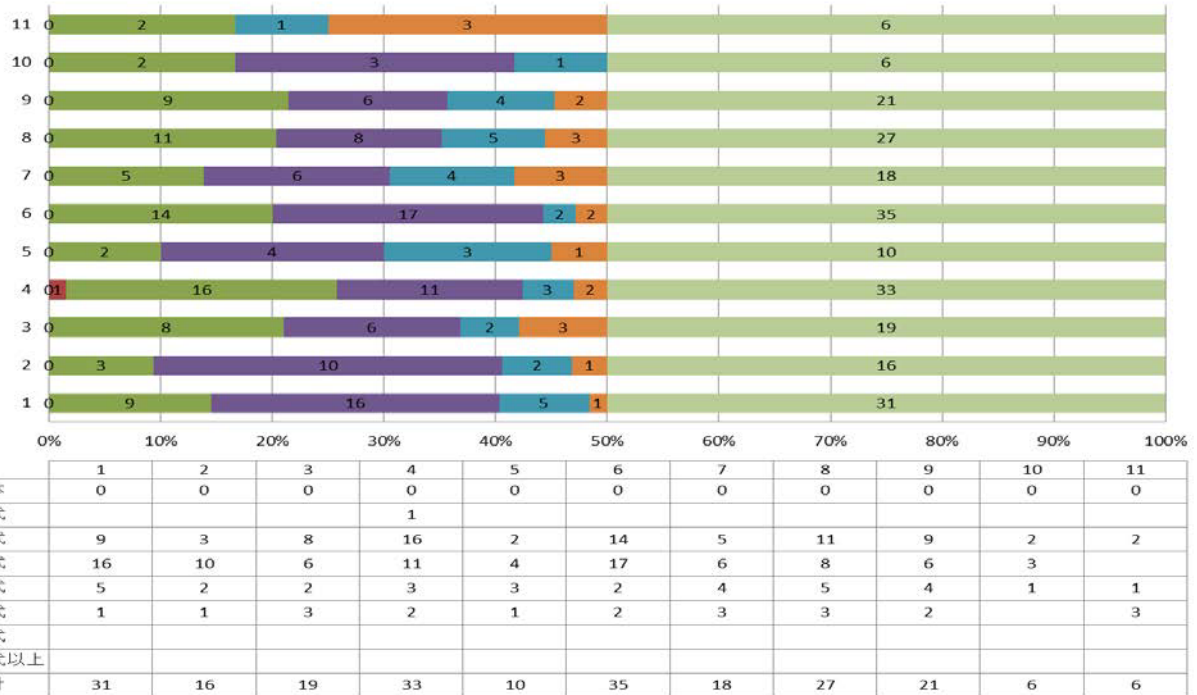
転入理由(単位:世帯)



八幡平市を選んだ理由(単位:世帯)



八幡平市で暮らすにあたり望まれること(単位:世帯)



(6) 転出者アンケート調査

(実施年；平成26年3～4月、回収数；転出144世帯)

① 転出者の構成

- 「10～30代」124件、「2・3世代世帯」89件、「県内へ」67件が高い。

② 転出の理由

- 「就職・転職・転勤」が98件と多く、「進学」「借家入居」「結婚」の計50件と続く。

③ 八幡平市に住んで不満だった点

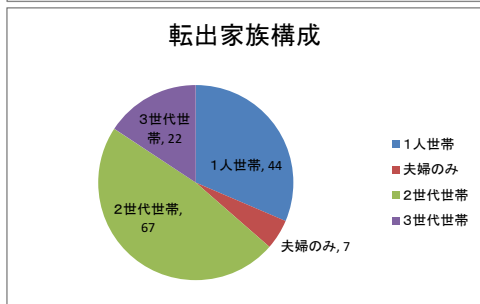
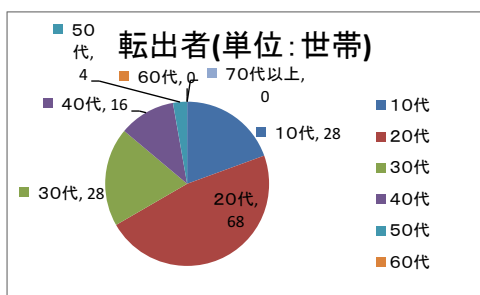
- 「交通機関や道路の利便性」が突出し、「買い物環境」「通勤・通学の便利さ」が続く。

④ 八幡平市で暮らすにあたり望まれること

- 「交通機関や道路の利便性」「買い物」「医療」「通勤・通学」「子育て」環境の充実が多い。

⑤ 将来機会があれば八幡平市に戻りたいか

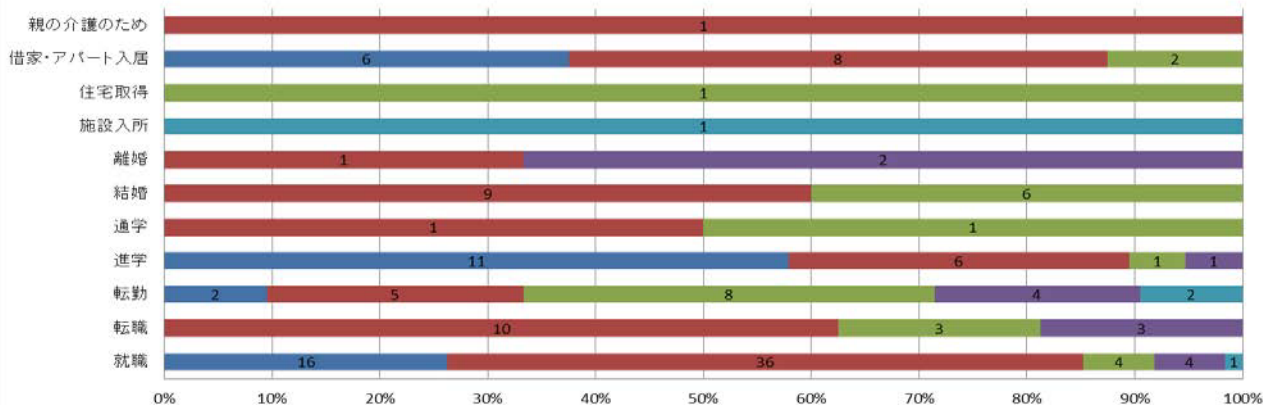
- 「わからない」48%、「帰りたい」46%が高く、「帰る気はない」は6%と低い。



回答	世帯数
1 市内を探したうえで他市町村へ	3
2 八幡平市に決めていた	30
3 他市町村にしか住めなかった	73
選択し	106

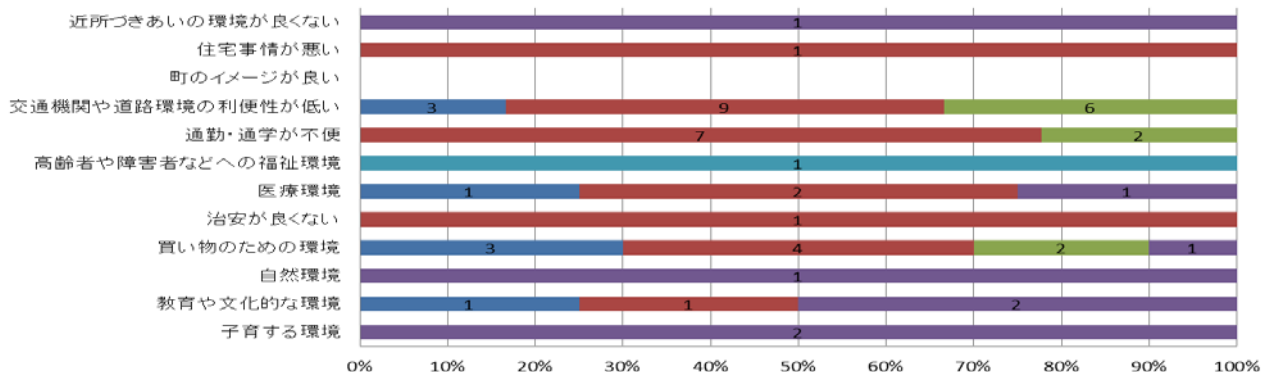
国内(国名)	世帯数
都道府県	
愛媛県	1
青森県	6
秋田県	3
岩手県	67
大阪府	2
神奈川県	6
岐阜県	1
埼玉県	6
千葉県	11
東京都	12
富山県	2
新潟県	1
福島県	1
マレーシア	2
三重県	1
宮城県	12
山形県	2
茨城県	2
北海道	3
計	141

転出理由(単位:世帯)



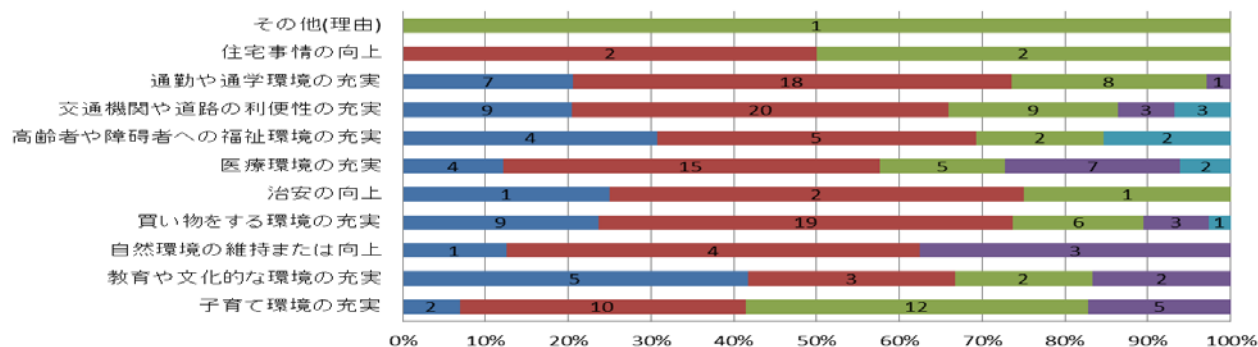
	就職	転職	転勤	進学	通学	結婚	離婚	施設入所	住宅取得	借家・アパート入居	親の介護のため
10代	16	0	2	11	0	0	0	0	0	6	0
20代	36	10	5	6	1	9	1	0	0	8	1
30代	4	3	8	1	1	6	0	0	1	2	0
40代	4	3	4	1	0	0	2	0	0	0	0
50代	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
60代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

八幡平市に住んで不満だった点(単位:世帯)



	子育てする環境	教育や文化的な環境	自然環境	買い物のための環境	治安が良くない	医療環境	高齢者や障害者などへの福祉環境	通勤・通学が不便	交通機関や道路環境の利便性が低い	町のイメージが良い	住宅事情が悪い	近所づきあいの環境が良くない
10代		1		3		1			3			
20代		1		4	1	2		7	9		1	
30代				2				2	6			
40代	2	2	1	1		1						1
50代							1					
60代												
70代以上												

八幡平市に望むこと(単位:世帯)



	子育て環境の充実	教育や文化的な環境の充実	自然環境の維持または向上	買い物をする環境の充実	治安の向上	医療環境の充実	高齢者や障害者への福祉環境の充実	交通機関や道路の利便性の充実	通勤や通学環境の充実	住宅事情の向上	その他(理由)
10代	2	5	1	9	1	4	4	9	7		
20代	10	3	4	19	2	15	5	20	18	2	
30代	12	2		6	1	5	2	9	8	2	1
40代	5	2	3	3		7		3	1		
50代				1		2	2	3			
60代											
70代以上											

問8: 将来機械あれば八幡平市に戻りたいか

1 帰りたい		
2 帰る気はない		
3 分からない		
1、帰りたい	57	(単位:世帯)
2、帰る気はない	7	
3、分からない	59	
合計	123	

(7) 定住促進のための雇用に関するアンケート調査

(実施年；平成●年●月、回収数；210人、県外在住者18～45歳を対象)

① Uターンの意向

- 「帰って働きたい」は40%で、「意向なし」の60%が上回る。
- 「意向なし」は、「男性」53%より「女性」69%が上回り、実家とのつながり等が影響しているものと想定される。
- 年齢が上がるほど、回帰意志は薄れる傾向が伺える。

② Uターン意向なしの理由

- 「希望業種がない」が50%と高く、「既に生活の根拠がある」35%が続く。
- 希望業種では、「映像関係、情報通信、電子関係、ヘアメイク、第3セクター等」があげられ、「需給バランスが取れない、職がない」、「将来性がない、安定していない、起業するにも集客性(事業性)が見込めない」等の意見もあり、業種の多様性(ニーズとのミスマッチ、選択の幅が狭い、受け皿の狭さ)や事業発展性(収益性)上の懸念が伺える。
- 「給料が安い、労働対価が低い(農業など)」も大きな要因と想定される。
- 業種以外の環境面での理由としては、「交通の便が悪い」、「車がない(徒歩・公共交通等で理容可能な職場が少ない)」、「子ども(や若者)が少ない」、「医療が整っていない」、「商店・コンビニ等が少ない」、「インターネットの通信環境が悪い」、「冬場の活動のしにくさ」、「便利な所で気ままに暮らしたい、東京から離れたくない」、「田舎で人間関係が面倒」が上げられており、特に、都心等と比べた交通・都市機能等の面での不便さへの懸念が伺える。

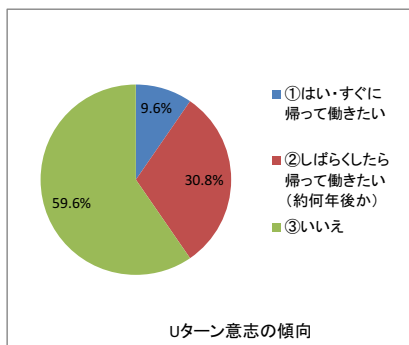
③ Uターン意向ありの人の希望業種

- 「学術研究、専門・技術サービス業」「情報通信業」「農林漁業」が10～13%で突出し、次いで、「医療、福祉」「宿泊業、飲食サービス業」「教育、学習支援業」「製造業」が8～9%が続く。
- 女性では、「医療、福祉」「宿泊業、飲食サービス業」が高くなっている。

④ Uターン意向ありの人の希望年収

- 「300以上600万未満」が66%と高い。(「300万以上」24%、「400万以上」41%)
- 「600万以上」が20%。

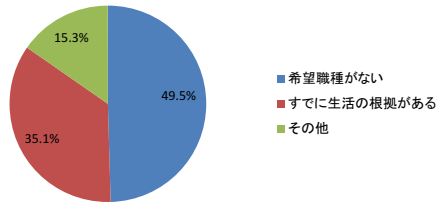
単位：人	男性	男性に占める割合	女性	女性数に占める割合	計	割合
18～24歳	43	36.4%	37	40.2%	80	38.1%
25～29歳	25	21.2%	21	22.8%	46	21.9%
30～34歳	15	12.7%	16	17.4%	31	14.8%
35～39歳	17	14.4%	10	10.9%	27	12.9%
40～45歳	18	15.3%	8	8.7%	26	12.4%
計	118		92		210	
全体数	210					



単位：人	男性					
	①はい・すぐに帰って働きたい	年齢別割合	②しばらくしたら帰って働きたい(約何年後か)	年齢別割合	③いいえ	年齢別割合
18～24歳	5	31.3%	16	40.0%	22	35.5%
25～29歳	3	18.8%	9	22.5%	13	21.0%
30～34歳	2	12.5%	9	22.5%	4	6.5%
35～39歳	2	12.5%	4	10.0%	11	17.7%
40～45歳	4	25.0%	2	5.0%	12	19.4%
合計	16		40		62	

単位：人	女性					
	①はい・すぐに帰って働きたい	年齢別割合	②しばらくしたら帰って働きたい(約何年後か)	年齢別割合	③いいえ	年齢別割合
18～24歳	3	75.0%	13	54.2%	20	32.3%
25～29歳	1	25.0%	2	8.3%	17	27.4%
30～34歳	0	0.0%	4	16.7%	12	19.4%
35～39歳	0	0.0%	3	12.5%	7	11.3%
40～45歳	0	0.0%	2	8.3%	6	9.7%
合計	4		24		62	

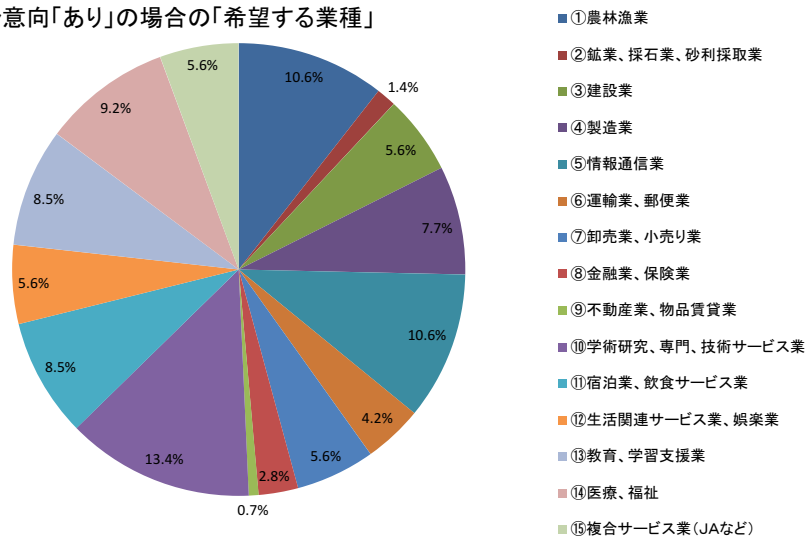
Uターン意向「なし」の理由



Uターン意向「なし」の具体的な理由

年齢	性別	居住地	Uターン意向がない人の理由
18	男性	宮城県	映像関連の企業への就職を希望しているため
18	男性	宮城県	自分の働きたい電子関係の会社が無いから
19	女性	秋田県	第三セクターで働きたい
19	女性	埼玉県	まず職が無い。資金もない。生活していけません
19	女性	東京都	需要と供給のバランスが取れない為
20	男性	千葉県	八幡平市に魅力を感じないから、交通の便が不便であり起業するにも集客が見込めないから。
21	男性	東京都	将来性が無い
21	男性	宮城県	希望の職種の仕事が無いため(情報通信)
22	男性	東京都	自分のスキルを活かす仕事が無い
24	女性	東京都	車が無い為。
24	女性	東京都	職が無いのと、給料が安いから。
24	女性	宮城県	今の所、私にできる仕事は在宅以外に考えられない。(インターネット関連なら可能)
24	女性	山梨県	田舎で、人間関係がめんどうさそう
26	女性	大阪府	仕事に限られている。やりたい仕事が無い。
26	女性	宮城県	働く場所が少ないため。給料が安い。
27	女性	東京都	現在の仕事(ヘアメイク)が八幡平市には無い為
27	女性	宮城県	安定的な仕事が無い。または冬の運動が困難・子供が少ない。また、高校が近くに一つしかない
27	男性	東京都	今の居住地の方が希望する仕事・年収等で就職先を見つけやすいため。
28	男性	静岡県	特に農業労働に対する対価が低すぎる不安定要素がありすぎる。
30	女性	埼玉県	東京から離れたくない
32	女性	宮城県	何かと便利などころで気ままに暮らしたい
33	女性	宮城県	働きたいところがない。働く場所もない。医療が整ってなくて怖くて住めない。
35	男性	千葉県	インターネットの通信環境が弱く、物流も日数がかかるため
37	女性	宮城県	八幡平市では聴覚障害者が働くことが難しいと思っているから。
37	男性	北海道	仕事が無い、給料が安いので生活できない。二男の為
40	男性	福島県	商店・コンビニ等が少なく、仕事も給料も安い為

Uターン意向「あり」の場合の「希望する業種」



Uターン意向「あり」の場合の「希望する仕事の年収」

